

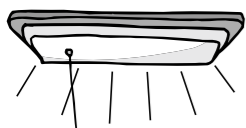
放射線について知ろう

大地震による原子力発電所の事故発生により、市民の皆さんの原子力に対する関心が高まっています。そこで、今回は、目に見えない「放射線」について少し勉強してみましょう。

「放射能」と「放射線」の違い

放射線とはX線のような電磁波および電子などの粒子の流れ（粒子線）をいい、放射線を出す能力を「放射能」、放射線を出す物質を「放射性物質」と呼んでいます。この関係を電灯にたとえると、「放射線」は光、「放射能」は光を出す能力、「放射性物質」は電灯ということになります。よく「放射能を浴びる」とか「放射能漏れ」と見聞きしますが、正しくは「放射線を浴びる」「放射線漏れ」です。また、「放射性物質」は放射能を持つ物質の総称で、ウランやヨウ素、セシウムなど多くの種類があります。

●電灯に例えると・・・

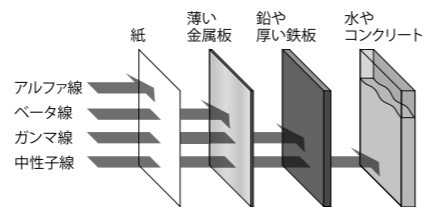


- ◀放射性物質（電灯）
- ◀放射線（光）
- ・放射能（光を出す能力）



放射線とはどのようなもの

放射線の種類には、アルファ線、ベータ線、ガンマ線および中性子線の4種類があり、それぞれ物質を突き抜ける能力が違います。放射線は物によってさざぎることができるので、アルファ線は紙一枚、ベータ線はアルミなどの薄い金属板、ガンマ線は鉛や厚い鉄の板、中性子線は水やコンクリートなどで止めることができます。また、放射線量は距離の2乗に反比例するため、距離が10倍になると放射線量は100分の1になります。



「シーベルト(Sv)」とは？

これは、人が放射線を受けた場合に、その影響をはかる「ものさし」として使われているものです。ミリシーベルト(mSv)、マイクロシーベルト(μSv)という単位がよく使用されますが、1 Sv=1,000mSv=1,000,000μSvとなります。

高島市の平常における放射線量は「1時間あたり約0.04μSv」で、この数値は、県が毎月、今津地区、マキノ地区で計測し、ホームページで公開しています。

☞ <http://www.pref.shiga.jp/bousai/portal/weather/radiation.html>

高島市内の交通事故発生状況 (平成23年5月末現在)

●発生状況 (累計)

	今年	昨年	増減
人身事故発生件数	78件	89件	▲11件
死者数	4人	2人	2人
傷者数	101人	108人	▲7人

発生場所	
マキノ	9
今津	14
朽木	5
安曇川	21
高島	12
新旭	17

5月の 火災・救急・救助 件数

() 内は年累計

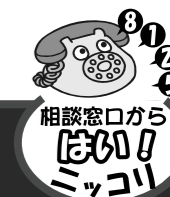
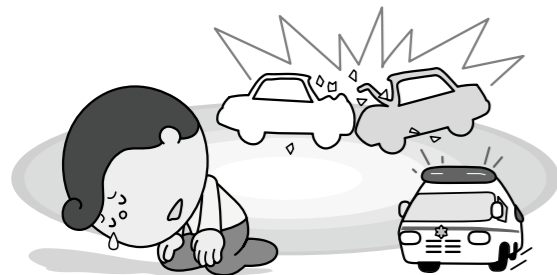
▼ 火災	
建物火災/0(5)	車両火災/0(2)
林野火災/0(0)	その他火災/1(2)

▼ 救急	
交通事故/24(84)	一般負傷/45(183)
急病/138(636)	その他/19(116)

▼ 救助	
火災/0(4)	交通事故/3(11)
水難事故/0(3)	その他/4(8)

(注) 【救急】 その他=火災+労働災害+運動競技+加害+自損行為+転院搬送等
 【救助】 その他=自然災害+機械事故+建物事故+ガス事故+爆発等

☎ 消防本部 消防総務課 ☎ (22)5401



扇風機の発火事故



扇風機は長年使用していると火災等の事故につながる恐れがあり、実際に発火事故も起きています。今ご使用の扇風機で、次の点をチェックしてみましょう。

【危険箇所のポイント】

- ① スイッチを入れても羽根が回転しない
- ② 回転が遅かったり不規則だったりする
- ③ 回転するとき異常な音がある
- ④ モーター部が異常に熱い、コゲくさい
- ⑤ コードが折れ曲がったり破損している
- ⑥ スイッチを入れても回らないが、たたくと回り出す

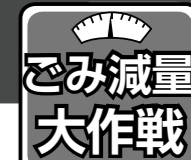
ひとつでも当てはまる項目があった場合は、すぐに使用を中止しましょう。

扇風機をうまく使えば節電にもつながりますので、使用前には異常がないか点検しましょう。また、扇風機に限らず、長年使用している家電製品は、どんなに大事に使っていても徐々に劣化が進みます。日頃から異常がないか気を配ることも大切です。

☎ 生活相談課

☎ (22)81-2225

高島市ごみ減量フォーラム開催



5月29日(日)、高島市民会館で『高島市ごみ減量フォーラム』を開催し、約700人の方々にご参加いただきました。「めざそうよ! 紙ごみ減量 日本一」をスローガンに、高島市ごみ減量大作戦~紙ごみ減量プロジェクト~の取り組みがスタートしました。皆さんのご協力をよろしくおねがいします。

取り組み事例発表

○今津町松陽台区
 区独自に紙回収業者と契約を行い、各戸が分別した紙ゴミを販売し、その収益を区費に充当し活用している事例を紹介していただきました。

○今津北小学校
 地域・PTA・学校が協力し合い、資源ごみ集団回収を実施。回収した資源ごみを販売し、PTA活動等の事業費にあてている事例を紹介していただきました。

環境学習実施

皆さんの区や自治会、学校や職場にお邪魔して、環境学習を実施させていただきます。環境学習は次の三者で分担して行います。環境学習について詳しくは、環境政策課ごみ減量推進室へお気軽にお問い合わせください。

- ★高島市シルバー人材センター →区・自治会への環境学習
- ★高島市エコライフ推進協議会 →保育園・幼稚園・小学校・中学校・各種団体等
- ★環境政策課 ごみ減量推進室 →事業所

環境講演会

『紙リサイクルの基礎知識』
 公益財団法人 古紙再生促進センター 業務課長 広瀬 和彦 さん
 紙リサイクルの現状や分別の基礎的な知識などについてお話いただきました。講演の中で広瀬さんは「紙の利用と再生がバランスよく回転するよう、再生したものを積極的に利用しましょう。」と参加者に呼びかけられました。



この事業は、全国モーターボート競走施行者協会からの拠出金を受けて実施しています。

紙ごみ減量プロジェクト始動